

各関係機関長 殿
病害虫防除員

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

平成28年度農作物病害虫発生予察情報について

平成28年度農作物病害虫発生予報及び半月報を発表したので送付します。

平成28年度農作物病害虫発生予報第2号

平成28年5月17日
徳島県

I. 果樹

カンキツ

そうか病

1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

(1) 5月前半の巡回調査では、春葉での発生は認められていない(平年同時期は発生圃場率が2.3%、発病度が0.0)。

(2) 5月12日発表の1か月予報では、天気は数日の周期で変わると見込まれている。気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並と見込まれており、発生には中間的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 発生園では落花期に薬剤防除を行なう。

黒点病

1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

(1) 5月前半の巡回調査では、春葉での発生は認められていない(平年同時期は発生圃場率が3.4%、発病度が0.01)。

(2) 5月12日発表の1か月予報では、天気は数日の周期で変わると見込まれている。気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並と見込まれており、発生には中間的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 枯れ枝、剪定枝は園外へ持ち出して処分し、病原菌密度の低下に努める。

(2) 落花期に薬剤防除を行ない、その後1か月、または降水量200~250mm毎に防除を励行する。

かいよう病

1) 予報内容

発生量 平年並~やや多く(前年よりやや多い)、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

(1) 5月前半の巡回調査では、旧葉での発生圃場率が43.8%で、平年(48.1%)並の発生であるが、発病度は0.7であり、平年(0.2)に比べやや高めの発生である。

(2) 5月12日発表の1か月予報では、天気は数日の周期で変わると見込まれている。気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並と見込まれており、発生には中間的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 罹病枝のせん除を行ない、常発園や罹病性品種園では防除を励行する。

(2) 風当たりの強い園では防風対策を講じる。

ヤノネカイガラムシ

- 1) 予報内容
発生時期 平年よりやや早い
- 2) 予報の根拠
(1) 県予察圃場での第1世代幼虫の発生は5月15日に初確認された(平年:5月17日,前年:5月14日)。
- 3) 防除上注意すべき事項
(1) 薬剤による防除適期は,IGR剤の場合,発生確認の10~15日後,有機リン剤の場合,35~40日後の時期である。

ミカンハダニ

- 1) 予報内容
発生量 平年並(前年並)で,発生程度は「少」
- 2) 予報の根拠
(1) 5月前半の巡回調査では,旧葉での発生圃場率が43.8%,寄生葉率が4.1%で,平年(40.8%,6.6%)並の発生である。
(2) 5月12日発表の1か月予報では,天気は数日の周期で変わると見込まれている。気温は平年並か高く,降水量はほぼ平年並,日照時間はほぼ平年並と見込まれており,やや発生助長的な気象条件である。
- 3) 防除上注意すべき事項
(1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。防除の際には,充分な量の薬液を散布する。
(2) ミカンハダニは薬剤抵抗性が発達しやすいので,同一系統薬剤の連用を避ける。

ナシ

黒星病

- 1) 予報内容
発生量 平年並(前年より少ない)で,発生程度は「少」
- 2) 予報の根拠
(1) 5月前半の巡回調査では,発生を認めていない(平年同時期は発生圃場率が10.2%,発病葉率が0.2%,発病果率が0.0%)。
(2) 5月12日発表の1か月予報では,天気は数日の周期で変わると見込まれている。気温は平年並か高く,降水量はほぼ平年並,日照時間はほぼ平年並と見込まれており,発生には中間的な気象条件である。
- 3) 防除上注意すべき事項
(1) 防除暦に準拠し,初期防除に努める。

アブラムシ類

- 1) 予報内容
発生量 平年並(前年並)で,発生程度は「少」
- 2) 予報の根拠
(1) 5月前半の巡回調査では,発生圃場率が25.0%,寄生新梢率が0.6%であり,平年(50.7%,4.7%)に比べやや低めの発生である。
(2) 5月12日発表の1か月予報では,天気は数日の周期で変わると見込まれている。気温は平年並か高く,降水量はほぼ平年並,日照時間はほぼ平年並と見込まれており,やや発生助長的な気象条件である。
- 3) 防除上注意すべき事項
(1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。
(2) アブラムシ類は葉裏や芯芽に寄生しているので,薬液が葉裏にも充分付着するように丁寧に散布する。防除の際には,充分な量の薬液を散布する。
(3) 薬剤抵抗性の発達をもたらす恐れがあるので,同一系統の薬剤の連用は避ける。

果樹共通

果樹カメムシ類

- 1) 予報内容
発生時期 平年より早い(前年よりやや早い)
発生量 平年よりやや少なく(前年より少ない),発生程度は「少」
- 2) 予報の根拠
(1) 今春の予察灯調査においては,勝浦町では平年(4月27日)より24日早い4月3日に,上板町では平年(4月28日)より22日早い4月6日にチャバネアオカメムシの初誘殺を確認した。

- (2) 2月に実施したチャバネアオカメムシの越冬調査(11地点×2か所調査)では、6地点で越冬を確認、越冬成虫は0.2頭/m²であり、前年(調査地点数は11地点×2か所、成虫確認地点数は10地点、越冬成虫数は4.4頭/m²)に比べてやや低めの越冬密度であった。
- (3) 5月12日発表の1か月予報では、天気は数日の周期で変わると見込まれている。気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並と見込まれており、やや発生助長的な気象条件である。

[ツヤアオカメムシの誘殺数]

| 月半旬 | 浦 | | | | | 板 | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-----|
| | 2016年 | 2015年 | 2014年 | 2013年 | 平 年 | 2016年 | 2015年 | 2014年 | 2013年 | 平 年 |
| 4.6 | 5 | 33 | 10 | 1 | 6 | 6 | 27 | 35 | 0 | 10 |
| 5.1 | 12 | 188 | 28 | 0 | 37 | 3 | 34 | 50 | 0 | 18 |
| 5.2 | 1 | 180 | 28 | 28 | 70 | 10 | 37 | 19 | 0 | 31 |
| 5.3 | | 380 | 96 | 76 | 61 | | 43 | 216 | 2 | 39 |
| 5.4 | | 27 | 104 | 50 | 197 | | 27 | 76 | 2 | 47 |
| 5.5 | | 94 | 132 | 34 | 89 | | 17 | 103 | 1 | 42 |
| 5.6 | | 29 | 222 | 43 | 111 | | 33 | 249 | 29 | 42 |
| 6.1 | | 69 | 154 | 7 | 86 | | 34 | 116 | 2 | 23 |

[チャバネアオカメムシの誘殺数]

| 月半旬 | 浦 | | | | | 板 | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-----|
| | 2016年 | 2015年 | 2014年 | 2013年 | 平 年 | 2016年 | 2015年 | 2014年 | 2013年 | 平 年 |
| 4.6 | 0 | 13 | 2 | 0 | 2 | 3 | 9 | 0 | 0 | 2 |
| 5.1 | 3 | 225 | 12 | 0 | 9 | 0 | 38 | 2 | 0 | 6 |
| 5.2 | 0 | 61 | 4 | 0 | 16 | 3 | 10 | 3 | 0 | 21 |
| 5.3 | | 35 | 34 | 6 | 13 | | 18 | 19 | 0 | 18 |
| 5.4 | | 154 | 40 | 5 | 37 | | 8 | 56 | 0 | 18 |
| 5.5 | | 26 | 50 | 20 | 36 | | 6 | 33 | 1 | 12 |
| 5.6 | | 44 | 107 | 19 | 26 | | 46 | 52 | 9 | 14 |
| 6.1 | | 7 | 42 | 3 | 17 | | 38 | 30 | 0 | 10 |

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 果樹園周辺の雑木林から成虫が飛来するので、園内を巡回し飛来に注意するとともに、飛来を認めたら早急に防除を行なう。
- (2) 夜行性の虫なので、薬剤の散布は夕方か早朝に実施する。
- (3) 移動性が大きいので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

II. その他

- 1) 薬剤の使用に当たっては必ず使用基準を遵守し、周辺作物等へ飛散しないようにして下さい。
- 2) 水田に薬剤を使用したときは、7日間以上止水して下さい。

発生量の表示

発生程度：甚>多>中>少>無

発生量：多い>やや多い>並>やや少ない>少ない

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所
URL : <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/t-boujoshou/>

○ 病害虫の発生予察情報、発生状況、防除法等をお知らせしています。